

H O N

①丸山健二著『首輪をはずすとき』

(駿河台出版社、952円)

②畠山重篤著『鉄は魔法つかい』

(小学館、1300円)

③石川梵著『鯨人』

(集英社新書、780円)



三浦 佑之

古代文学研究者、
立正大教授

震災以降を生きのびるには、おのれを鍛え上げる自立の精神を育て上げるしかないと言く①は、わが怠惰な心と肉体にぐさりと突き刺さる。3・11以後に出た本でもっともはげしく共感した一冊。②は、カキ養殖のために山を育てる漁師さんの一冊。はやく豊かな気仙沼の海が戻りますように。③は、書評した本の中で最高に心躍らせた一冊。ここに描かれている平穏な日常が地球のどこかに残り続けてほしい、心からそう願った一年。